

浸水から街を守る『いろは呑龍トンネル』

いろは呑龍新聞第5号～平成28年4月号～



「いろは呑龍トンネル」南幹線に後方台車を搬入しています。



「いろは呑龍トンネル」南幹線が110m完成し、トンネル内に後方台車（運転操作台車、燃料台車など）を搬入しています。

発進立坑内



発進立坑から後方台車を南幹線トンネル内に搬入します。

発進立坑内（台車搬入）



南幹線トンネル内に施工したレールを利用して後方台車をトンネル内で移動しています。

トンネル内（台車搬入）



トンネル内（台車設置）



レールを利用して後方台車を移動し、トンネル内に設置しています。

トンネル内部に空気配管や酸素・メタンガスを計測する設備を構築しています。

空気配管
(搬入状況)



空気配管
(設置状況)



空気配管
(トンネル内)



トンネル内では、酸素濃度の低下や地下のメタンガスがトンネル内部に流入する可能性があることから、安全管理のため、各種計測設備を設置しています。

計測設備
(酸素・メタンガス濃度)



非常用警報装置



中央監視室
(トンネル内の監視)



<工事の進捗状況>

「いろは呑龍トンネル」南幹線トンネル内に後続台車を搬入しています。

【雨水南幹線計画図】

- 雨水南幹線 (未施工)
- 雨水南幹線 (施工済)

○雨水南幹線の概要

掘削延長：4,069m
 内径：3.5m
 土被り（深さ）：約20m

掘進速度 初期 約6m/日
 本掘進 約13m/日
 到達 約5m/日

工期：平成27年3月25日～
 平成31年3月25日



○雨水南幹線の掘進状況
 (平成28年4月15日現在)

110m / 全長4,069m
 【 3% 】

